

## 教育長日記 (令和3年2月12日)

# 青い空に浮かぶ 白い雲 163

-感性を育てる / 心の琴線に触れる教育- 東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

## 新しい年も もう二月もなかば

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、世界中が必死になってその対策に取り組んできました。

年が明けた令和3年に入っても、なお新型コロナウイルス感染症の拡大は止まりません。

令和3年1月8日、菅<sup>すが</sup>義偉<sup>よしひで</sup>首相は「新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言」を東京、神奈川、埼玉、千葉の首都圏4都県に発出し、その後、更にその対象を広げ、現在は緊急事態宣言を3月7日まで延長することが決定されました。

私たちが緊急事態宣言のポイントを明らかにし、精一杯の理解と協力を努めていきましょう。

※小・中学校の一斉休校は求めない。

## 令和3年 新年校長会 (1月7日開催) 教育長の挨拶概要

新年を迎え教育長としておよそ2つのことを話しました。

### ◆ 地域の学校について

- ① 学校は地域の人たちによる、教育に対する熱い思いによって開校に至ったものであること。
- ② 学校は、その後、広く地域の学びの場となり、地域の貴重な財産になっていったこと。
- ③ 今後は、コミュニティ・スクールの導入を機に、校長のリーダーシップのもとで、保護者や自治会や地域団体の方々との連携・協力を更に深めること。
- ④ 多くの方々に学校の応援団となっていただけるよう、意識改革を進めること。

### ◆ 感性を育てる

- ① GIGAスクール構想が進みはじめ、小学校、中学校ともに新しい教育が加わる。子どもたちの学習の幅や生活の様子が一層広がっていくこと。
- ② その一方で、世の中がさまざま変わり、生活スタイルが変わり、人と人との繋がり方も変わる中、感じることは「感性」を磨くことの大事さ。
- ③ 生き方が変わる中で「感性」という部分が希薄になり始めてはいないか。子どもの教育には欠くことの出来ない感性の育成。

学校で生き物を飼うことが少なくなる中で、教室の金魚にもメダカにも関心を示さなくなる子ども。

「その子のよさ」に気付かない大人、人と人との触れ合いの中で、相手の気持ちを感じ取るその「感性」を、私たちも、子どもたちも、先生も、「感性」を磨き、失ってはならない、そう思います。

### 私の誇り

東大和市15校の校長を私は誇りに思っています。  
新型コロナウイルス感染症が続く中、心の琴線に触れる教育を大事にしていきましょう。

